

2014. 2. 12

～渡航情報（広域情報）～

（件名）

東アフリカ地域：テロの脅威に伴う注意喚起

（内容）

1 2月10日、米務省は、2月もしくは3月にウガンダの首都カンパラに対するテロ攻撃の具体的な脅威情報を入手し、ウガンダ国立博物館がその標的の一つであるとして、同博物館への訪問を避けるよう、米国民に対して注意喚起を行いました。また、標的は変わりうるとして、多くの人が集まる公共の場所やイベントを避けるよう併せ注意喚起を行いました。

( [http://kampala.usembassy.gov/sm\\_021014.html](http://kampala.usembassy.gov/sm_021014.html) )。

2 東アフリカ地域では、ソマリアのイスラム過激派組織「アル・シャバーブ」がソマリア国外でも活動しており、昨年9月21日には、ケニアの首都ナイロビのショッピング・モールを武装勢力が襲撃し、外国人を含む多数が死傷しました。本件に関し、「アル・シャバーブ」が声明を発表して犯行を認め、その後も複数回にわたってケニア軍がソマリアから撤退しなければ同様のテロを起こすと警告を発しており、ウガンダを含むソマリア派兵国及びケニア周辺国で脅威が高まっています。

3 つきましては、ウガンダやブルンジを含む東アフリカ地域に渡航・滞在される方は、上記状況に十分留意し、テロ事件や不測の事態に巻き込まれることのないよう、最新の治安情報の入手に努めること等を通じて十分な安全対策を講じてください。

4 また、最近のスポット情報及び危険情報( <http://www.anzen.mofa.go.jp> ) を改めて確認するとともに、渡航前には万が一に備え、家族や友人、職場の同僚等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。また、テロ事件等に遭遇した際には、日本国大使館に速やかに連絡を取るようお願いいたします。さらに、緊急事態に備え、携帯電話にあらかじめ大使館の連絡先を登録するとともに、ご質問等がある場合は、大使館にご連絡ください。

5 テロ対策に関しては、以下も併せご参考ください。

- (1) 2013年10月9日付け広域情報「テロの脅威に伴う注意喚起」
  - (2) パンフレット「海外へ進出する日本人・企業のための爆弾テロ対策 Q&A」
  - (3) パンフレット「海外旅行のテロ・誘拐対策」
- (パンフレットは、<http://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pamph.html> に掲載。)

(問い合わせ先)

- 外務省領事局邦人テロ対策室 (テロ・誘拐に関する問い合わせ)

東京都千代田区霞が関2-2-1

電話：(外務省代表) 03-3580-3311 (内線) 3680

- 外務省領事局海外邦人安全課 (テロ・誘拐に関する問い合わせを除く)

東京都千代田区霞が関2-2-1

電話：(外務省代表) 03-3580-3311 (内線) 2306

- 外務省領事サービスセンター (海外安全担当)

住所：東京都千代田区霞が関2-2-1

電話：(外務省代表) 03-3580-3311 (内線) 2902

- 外務省 海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp>  
：<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp> (携帯版)

- 在ウガンダ日本国大使館

住所：Plot No. 8, Kyadondo Road, Nakasero, Kampala, Uganda.

(P. O. Box 23553 Kampala, Uganda)

電話：(市外局番 041) 4349542~4,

国外からは(国番号 256) 41-4349542~4

FAX：(市外局番 041) 4349547

国外からは(国番号 256) 41-4349547

ホームページ：[http://www.ug.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.ug.emb-japan.go.jp/index_j.htm)